

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を书面開催により開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 土岐紅陵高等学校 学校運営協議会（第2回）
- 2 開催日時 令和4年9月1日（木） 13：30～15：30
- 3 開催場所 土岐紅陵高等学校会議室
- 4 参加者
会長 土本 泰 至学館大学
副会長 土本 訓子 土岐市まちづくり推進課長
委員 伊藤 瑛子 美濃焼おかみ塾
後藤 淳 土岐市立下石小学校長（欠席）
鈴木 琴恵 下石女性の会会長
曾我 穂高 株式会社 office sogas 代表取締役
長瀬 教行 土岐市立西陵中学校長
林 純子 土岐紅陵高等学校PTA副会長
前田 宏香 土岐市立西部こども園長
山田 みどり 土岐商工会議所事局長（欠席）

学校側 相川 長徳 校長
安藤 範和 教頭
井戸 勇心 事務長
石崎 吉一 教務主任
金子 浩隆 生徒指導主事（欠席）
薄田 直樹 進路指導主事
加藤 智子 活性化推進部長

5 会議の概要（協議事項）

(1) 演劇ワークショップについて

・演劇ワークショップの参観と概要説明

意見1：男女関係なく皆で笑いあえ、楽しく取組む姿が微笑ましい。（複数）

意見2：アクティブラーニングにより自己表現力を高め、社会で自分の意見を述べるができる力を養うことが大切である。

意見3：ワークショップではどんな表現も認められている。学校教育全体で推進されるとよい。

意見4：平成元年度も参観したことを覚えているが、生徒の様子も変わったと感じる。温かい関係性のなかで、生徒の明るい部分が引き出されている。

意見5：地域の流鏝馬に積極的に取組んだ生徒の姿を見ることができて嬉しかった。幼保・小・中+高で連携して地域で活躍できる子を育てたい。

意見6：昨年度娘が参加し、楽しかったと聞いた。実際に見て、楽しそうな雰囲気が伝わり、友人関係も広げられると感じた。

- 意見7：体をほぐすことや体幹を鍛えることは幼少期の教育から大切に行っている。
- 意見8：社会に出て人との関わりで行き詰まる子もいる。取組を通してコミュニケーション力や人間関係構築力などを卒業までに育成できるとよい。
- 意見8：参加したくないという生徒はいるのか。
⇒参観クラスの欠席者は7名。コロナ禍で体調不良の生徒がほとんどである。コミュニケーションに苦手意識を抱える生徒もみられたが、前向きに取り組んだ生徒が多く、講師からは、本校の生徒は素直で立ち姿がとてもよいと評価を得ている。

(2) 学校評価について

- ・令和4年度生徒及び保護者等を対象とするアンケート結果
- 意見1：入学前と入学後でのギャップがあると思うが、95%が入学できてよかったと回答していることに驚き、教職員の努力を感じる。学校の存続に大切なことである。
- 意見2：入学できてよかったことについて、具体的に何がよかったのかを調査できるとよい。
- 意見3：タブレット端末を78%がもっと活用したいと回答しているが、具体的にどの様に活用したいかを調査できるとよい。
- 意見4：「わからない」という回答については、情報発信を工夫することで学校への理解を深められるとよい。
- 意見5：地域からの学校に対する評価については、以前にも宣伝不足への問題提起があった。幼保・小・中との連携のなかで協力してできるとよい。
⇒アンケート結果を踏まえてより具体的な調査ができるよう検討する。
⇒学校の情報を効果的に発信できるよう努める。

(3) これまで（8月まで）の学校運営について

- ・授業の取組、部活動の成果、熱中症予防への対応、進路関係行事、安全講話、地域関行事、中学生体験入学、PTA関係行事、開校60周年記念事業など
- 意見1：熱中症予防では、4月から指定の体操服での登校を許可しているが、中学生も体操服で登校していることもあり、街中で見ても違和感はない。
- 意見2：コロナ禍で中学生が高校を知る機会が減っている。貴重な機会である8月の体験入学の満足度が高く、丁寧な対応であることが分かる。
- 意見3：R5年度入学者選抜では独自選抜を導入するということが、特定の部活動ではあるが、中学生にとって受検の幅が広がってよい。

(4) 9月以降の主な行事について

- ・ふるさと魅力体験事業、秋の高校見学会、修学旅行、職場体験学習、学校祭、球技大会、芸術鑑賞など
- 意見1：職場体験学習ではアルバイトでは体験できない経験ができる。学校を通して、人と関わる仕事を体験できることや働く側の視点で学ぶことに意義がある。（複数）
- 意見2：自分自身が高校生のときには、今は有名となった楽器の工房で実習をした。今でもその経験が印象に残っており、実習に行けてよかったと感じている。
- 意見3：人手不足な職種については、実習を経験することでやってみたいという気持ちを持ってもらいたい。
- 意見4：職場体験の実習先を生徒が探してくるということもあったと思うが、今はどうか。
⇒対象学年の教職員が実習先を確保している。職場体験の意義を明確にし、実習の充実を図っていきたい。

(5) その他

・意見交流など

意見1：中高生に講習会等で接する機会に「どうだろう？」と問いかけると、周りの顔色を確認する場面が多くある。演劇ワークショップであったように、授業などにおいても間違ってもよいということを教職員が保証することで、堂々と自分の意見を発言できる力が育成されるとよい。

6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、演劇ワークショップの参観とこれまでの取組の報告及び今後の主な取組についての確認をした。学校として多くの課題を抱えている現状を踏まえて様々な視点からの意見を得た。今後の学校運営に生かしていきたい。

第3回学校運営協議会は、1月の課題解決学習発表会を参観したのち、次年度の学校運営方針等について検討する予定である。